

■楽しい自治公民館活動の紹介

自治公民館では、様々な活動を行っており、地域によって特色ある活動を行っているところもあります。このコーナーでは、その一部を紹介します。

【十五夜 ～栗ノ峰自治公民館～】

横瀬古墳の近くにある、国道448号線沿いの花壇は、栗ノ峰自治公民館青壮年部の方々が季節の花苗を植えて、いつもきれいに手入れされています。この栗ノ峰自治公民館では、毎年9月に収穫の感謝や豊作の祈願をこめて水神様の清掃作業や十五夜の行事を行い、集落内の親睦融和を深めています。集落内の広場に集まり、月見団子やすずきなどを供え、お酒や食事を楽しみながら、世間話や昔話に花を咲かせます。昔は、水神様の前で隣の浜田集落の子どもたちと相撲対抗戦を行い、大いに盛り上がっていました。今年は、新型コロナウイルスの影響で開催できませんでしたが、古くからあるこの行事を集落の交流の貴重な機会と捉え、楽しいコミュニティライフを過ごしています。



大崎町地域包括支援センターだより

問 大崎町地域包括支援センター
☎471-7828

●暮らしのコンシェルジュ

当センターは、高齢者の暮らしについて様々な相談や要望に応える「よろず相談窓口」です。暮らしのコンシェルジュに、寄せられるご相談と対応を紹介します。

今月は「認知症の方との接し方」について取り上げてみたいと思います。

- **相談内容**…「認知症の方には優しくしたほうがいい」と聞いたことがあります。具体的にはどうしたらよいでしょうか。
- **対応策**…認知症の方と接するときのポイントをお伝えします。

優しく接する

- ・笑顔で接しましょう。 ・体を低くして、視線を同じ高さにして対応します。
- ・ゆっくり、はっきりと話すように心がけます。

本人のペースにあわせる（急かさない）

同時に複数のことを聞かない。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。

相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。間違ったことや理解できないことを言っても、すぐに否定しない。黙ってうなずくなど話を聞きましょう。

自尊心を傷つけない

認知症になっても、自尊心や誇りを持っています。大声で叱ることは厳禁です。